



テイクアウトの用のサラダを容器に詰める小林さん。

コロナに負けない応援歌 みんなの 響け！エール



▲テイクアウトのパンを
受け取るお客さん。

1月末、大型クルーズ船の乗客が新型コロナウイルスに感染したことに端を発し、見る間に日本全国がコロナの影響に右往左往することになった。学校の休校、不要不急の外出自粛、営業自粛、そして緊急事態宣言へと世の中は揺れた。コロナの及ぼす影響は、市内の事業所や店舗も例外ではない。しかし、市民の中からこの状況を打開するための応援の声もあがってきている。そんなエールを送る取り組みを紹介したい。

【取材 企画財政課】

常連さんや友達に助けられました。

小林弘典さん

商工会議所からパンフレットを出したいと提案され喜んだ。

これまでは、常連客などに、サラダなどのテイクアウトメニューを提供してきた。しかし、今回はイタリアンだけでなく、日替わり弁当に和食も取り入れてみた。珍しく男性客が訪れたのも、その試みが功を奏したのかもしれない。

収束後はお店のPRを

小林さんは、今後、事態が収まったからの営業形態も考える。

「これから先、通常営業に戻ったとき、お客さんが警戒して来ないかもしれないと不安です。逆にたくさんお見えになって満杯状態になることも心配な面があります。お客さんが戻って来ないようなとき、お店に行こう！みたいなPRを商工会議所さんなどで展開していただければ、ご協力をお願いできればと思います。」

新型コロナウイルスによる営業自粛などは、さまざまな業種に多大な影響を及ぼした。とりわけ飲食を伴う店への影響は、目に見えることとして映った。そんな負の事象ではあるが、それぞれの工夫で乗り切ろうとする姿勢は、大いなる経験として、将来へのステップとなることを信じている。



(右)新鮮な魚介類を切り分け盛り付ける。(左)アツアツの玉子の出来上がり。



「割烹 宇恵喜」の屋前の厨房。仕出し弁当の準備に余念がない3人の料理人が、せわしなく手を動かしている。だし巻き玉子を手際よく焼き、魚介類をサクサク切り分けていく。そして、弁当の容器に盛り付ける。各人が分担した作業を黙々とこなしている姿があった。

キャンセル続出の宴会

1月末、日本での新型コロナウイルスの感染が報じられ、2月に入り次第に感染者が増え始めると、世の中の不安が高まっていった。

「2月27日、安倍首相から学校への休校要請がされた直後でした。外出先から店に戻ってみると、帳簿に記された歓送迎会や慶事、法事などの予約の文字に横線が引かれ、ほとんどがキャンセルになっていました」。そのときの衝撃を今も鮮明に覚えていると語ってくれるのは、専務の植木貴生さん。3月、4月というのは、1年のうちでも宴席が設けられることが多い時期で、店にとっては書き入れ時。売り上げは大幅に減少した。これまで経験したことのない出来事を振り返り、先行きに大きな不安を抱えたと、表情を曇らせる。

しかし、このまま座して待っていた

守りと攻めでコロナに立ち向かう。 植木 貴生さん



経験したことのない出
来事だったが、素早い対
応で切り抜けようと必
死だったと植木さん。

のでは、店の経営は立ち行かなくなり、従業員らの雇用を守ることもできなくなることを考え、行動を起こした。

そこで取り組んだのがテイクアウトという方法だ。4月に緊急事態宣言が出されてからは、これ一本に絞ることになった。元々、仕出し弁当のサービスをしていたので、それほどテイクアウトへの移行は難しいことではなかったという。

パンフレット効果で注文倍増

「今回の取り組みで工夫した点は、駐車場に受け渡し場所を設け、ドライブスルーサービスができるようにして、お客さんとの接触を極力控えたことです。お客さんからは、よく考えとるね、と好評でした。緊急事態宣言中は、感染拡大防止割引というサービスマシしました。」

出足はそれほど数が出ていたテイクアウトではなかった。状況が一変したのが5月号の広報紙と一緒に配布されたパンフレットだった。商工会議所が作成した、市内でテイク

アウトをしている飲食店を紹介したものだ。

「それが配られてから一気に注文が増え、作るのが追いつかないほどでした。本当にありがたかった」と植木さんは感謝の意を表す。

ほかにも、これまで実行に移せなかった通信販売用に真空パックした食材も、この機に導入。さっそく首都圏など、遠方からの注文も入ったという。

新しい生活様式に対応したビジネス

こうした経営努力と並行して取り組んだのが、公的支援制度の利用だった。SARSやMERSなど、これまでの感染症のことを調べると、収束までには相当の時間を要することを知り、今後の対応を取るため、いち早く行動を起こした。守りと攻めを同時にやって、コロナに立ち向かってきたという植木さんだが楽観はしていない。

「コロナの収束後もこうした厳しい状況は続くと考えています。人との接触を控える新しい生活様式に沿ったビジネスモデルに変換していかなければ生き残れないと思います」。そこには、ピンチをチャンスにしようとする必死な姿があった。



テイクアウトが新たな武器に。

大竹商工会議所 柳原 宏昭さん

テイクアウト情報パンフ作成

「商工会議所では、2月ごろからコロナ対策として何かしなければという思いを持っていました」。そう話してくれたのは、柳原さん。

3月に入ると飲食店を営む商工会議所の会員から、売り上げが落ち込んでいるという深刻な声を耳にするようになった。商工会議所として早急な取り組みをしなければとの思いを強くしたという。

「どのような支援ができるのか、とにかく早くやりたいということ、すぐに取り組めるテイクアウト情報のパンフレットを作りました」。

SNSでの発信も検討したが、ネット環境が無い人やスマートフォンを使わない人のことも考え、25店舗の情報を掲載したパンフレットを配布することにした。配布後、すぐさま反響があったようだ。

「良かった反面、日頃テイクアウトをしていないお店は、注文の多さに大変だったと聞きました。また、パンフレットを配った後で、営業時間の変更や休業になった店もあったようです」。

紙媒体は、このような変化への対応は難しいが、ネットで情報を得られない人のためには必要であると柳

原さんは考えている。

そんな折、青年会議所も飲食店の応援のための企画を考えていることが分かり、同じ目的を持つ者同士、市を含めた三者が力を合わせるようになった。



新型コロナウイルスの影響を受けている飲食店応援の第1弾として、テイクアウトをしている店舗を紹介した『おたけテイクアウト』というパンフレットを商工会議所が作成。ゴールデンウィークを前に、各世帯や事業所などに配布した。第2弾に取り組むため、商工会議所、青年会議所、市が共同で応援プロジェクトを立ち上げた。



商工会議所でテイクアウト情報発信のパンフレットを作成。柳原宏昭さん(右)と田宮絢子さん(左)

より厚みのある情報に

応援プロジェクトは、第2弾のパンフレットを発行する。前回は急ぎ作成したため、テイクアウトメニューの写真を載せることができなかった。6月に配布するものには、店舗や料理の写真も入れるよう準備している。

パンフレットのほかにSNSも立ち上げる。三者がそれぞれ得意とする分野で役割を分担し、より厚みのある情報提供に努めるようだ。

「コロナが落ち着いても、すぐに客足が戻るには限りません。お店も何らかの形態で売り上げを増やしていきたいでしょう。その一つとして、これをきっかけに始めたテイクアウトが、新たな武器になるのかなと思うのです。そして、事態が収拾した後に商工会議所としては、今度はお店に行ってくださいとPRすることを考えています」。

今回、実施してきた情報発信の手法や協力体制が、きつとその礎となることだろう。



▶Instagram、フェイスブック、ツイッターで情報発信。「おたけテイクアウト」で検索。フォローや「いいね」をお願いします。

テイクアウトでエールを送る。

大竹青年会議所 理事長 網代木 秀太さん

中野 友博さん

官民一体プロジェクト

三者共同プロジェクトの一翼を担う青年会議所。きっかけは、3月の半ばにメンバーから飲食店が大変だという話を聞いたことだった。青年会議所として何か応援できることはないかと、企画を練っていく中で参考にしたのが別府市で始まった「別府エール飯」。テイクアウトした料理をSNSに投稿し、市民のみんなが飲食店を応援しようというもので、全国に広がりを見せている。その大竹版「おたけエールめし」を

企画した。

青年会議所単独事業として、市に後援依頼をしたところ、商工会議所も飲食店応援企画を進めていることが分かった。一つの団体だけでは、できることに限界がある。市全体の課題と捉え、官民一体の共同プロジェクト「おたけテイクアウト」として再スタートを切ることにした。

「市は全戸配布できる実行力。商工会議所は飲食店とのつながりから情報収集力。青年会議所はSNSやホームページを使った情報発信力。三者の得意な分野が交わることで、この取り組みが広がると考えています。こうした官民一体での取り組みは珍しいのではないのでしょうか。プロジェクト担当の中野さんは話す。

SNSは点から線へ

SNSでの情報発信とはどのようなのだろうか。一つは「おたけテイクアウト」という公式アカウントを立ち上げ、そこに各事業所などからの応援メッセージの写真を投稿するもの。それに加えて、「おたけテイクアウト」のシールを貼

った商品を利用した皆さんには、その写真を各自のSNSに投稿してもらうことで、点の情報が線としてつながり、さらなる行動へと広がるよう期待するというもの。例えばInstagramであれば、「#おたけテイクアウト」というハッシュタグを付けて投稿すれば、そのキーワードで拡散が可能になる。

「既にSNSを使っている飲食店さんであれば、その情報を公式アカウント側がシェアすることで拡散を図るイメージです。この企画を始めるときに重要視したのが、まずスピード感。そして何より飲食店さんに負担をかけないということです」と中野さん。

活気あるまちへのエール

「我々がやっていることは、きっかけづくりに過ぎません。この取り組みが派生していき、活気あるまちに戻っていただければと思っています」。理事長の網代木さんは、そう言葉を結んだ。

その言葉からは、テイクアウトという一人一人の声が、まちに響く大きなエールのようにも思えてくる。



「明るいニュースを届けたい」との思いで企画。青年会議所の網代木秀太さん(左)と中野友博さん(右)

大竹市民2万7000人で守ろう、ふるさとのご飯。

第2弾 新型コロナウイルス感染症対策 飲食店応援プロジェクト

おたけテイクアウト

～プロの味をご自宅で～

コロナなんかに、負けるもんか。

先好きの見えるないコロナウイルスとの戦いの中で、大好きだったあの店が、家族でよく行っていたあの店が、ピンチを乗り越えるために頑張っている。今こそ大竹市民2万7000人の応援で、あの店を、あの味を、守ろう、いや守るんだ。コロナなんかに負けるもんか。

#おたけエールめし

おたけの味をSNSに投稿して応援しよう!

大竹市 大竹商工会議所
JCI 一般社団法人大竹青年会議所 大竹商工会議所青年部

新しいことに チャレンジ

ゴッホ向井ブルーさん



実家のキッチンで、慣れない手つきで料理する様子をYouTubeで動画配信。撮影するお母さんとのやりとりが面白い。

こういう状況になり、3月末からずっと大竹の実家での生活が続いています。ただだいたいいたお仕事もほとんど中止になり、6割ほど減りました。

このとき「うわ〜どうしよう」と悩みましたが、それと同時に「前向きに何か新しいことにチャレンジできないか」と「今の暮らしに少しでも楽しさを」と考えました。

その結果、この4月から急に母親とYouTubeを始めました。うちの母もまさかの60歳からYouTubeデビューです。

今は暗い話題も多いですが、母と笑いながら動画を撮影して、少しでも明るい時間を作るよう頑張っています。

1日でも早く、当たり前のように戻っていった少し前までの「日常」に戻るよう、皆さんでこの事態を乗り切りましょう。

【お笑い芸人 高校卒業後、上京。お笑い芸人を目指す。マニアックなカーブネタが得意で、カーブ芸人として「アメトーク」に出演。現在は、広島ホームテレビ「みみよりライブSup」月曜、火曜、ちゅぴCOM「SPORT&LIFE」月曜、火曜、HFMの番組などに出演。 玖波出身】



エールを送る声は、さまざまところから届いている。ここでは各界で活躍する大竹市在住者や出身者のメッセージを紹介する。



頑張り過ぎず 踏ん張って

三宅 由利子さん

私の大好きな故郷の皆様へ。今、世界はとても不安定な波の中にいます。こんな時、家族や友人の繋がりを強く感じます。こんな時だからこそ、感謝の気持ちを忘れずに。

明日は我が身と緊張感を無くさず、頑張り過ぎず踏ん張って、思いやりで支え合いながら、共に乗り越えて参りましょう。

必ずこの夜は明けますから。

この状態は続かない

一柳 信行さん

スポーツアナウンサーとして、例年だとプロ野球の実況や遠征への帯同で忙しくしています。今は監督、コーチ、選手への取材も制限があり、満足にできない状態です。

しかし、これは忙しい日常から少し離れて、「休みなさい」というふうにプラスに考えることにしています。高齢な両親のことを真剣に考える時間もできました。

放送では「頑張り」という言葉は使わないようにしています。この言葉は誰にでも当てはまるとは思いません。今は『我慢』のときだと思わず、いつまでもこの状態が続く訳はない、必ず終わると信じて、今の状態が明けたとき、新鮮な気持ちで迎えられるようにできたらいいと思っています。

【中国放送アナウンサー、平成2年入社。プロ野球やひろしま男子駅伝の实况などを担当。 玖波在住】



テイクアウトを応援！ お店に行かないと 食べられない料理が味わえました。



広島信用金庫の大竹支店、玖波支店では合わせて20人が勤務している。緊急事態宣言後、店内での営業を自粛していた飲食店への応援の意味で、両支店では昼食にテイクアウトを利用してもらうという。

大竹支店で窓口を担当している福田美涼さんに話を伺った。

「コロナの影響で飲食店さんが大変だとお聞きし、少しでもお役に立てればと思い、大竹支店と玖波支店でテイクアウトをしました。いつも昼食は各自でお弁当などを持って来ていましたが、日頃お世話になってるお店などにお弁当をお願いしました。」

金融機関という業務の関係上、昼時間に外出しての食事はできないということもあり、各自のできる範囲



で頼んでみようということになった。同じ地域で働く者として、エールを送ったということだ。

両支店では、これまでに数店のテイクアウトを利用したという。

「普段はお店に行かないと食べられない料理が味わえてうれしい。」

いつもは自分で弁当を持って来る福田さんだが、テイクアウトの味も格別ようだ。

「おたけ テイクアウト」をPR

問い合わせ
企画財政課 ☎59-2125

6～7ページで紹介した「おたけテイクアウト」の取り組みをケーブルテレビちゅぴコムふれあいの番組『大竹市からのお知らせ』で紹介しします。

放送日時
6月1日(月)～7日(日)
8時55分・18時25分・21時25分
(1日3回放送)
※臨時の放送などで、放送予定は変わることがあります。



マスクの寄贈(5月15日現在)

各事業所や友好都市から多くのマスクの寄贈がありました。ありがとうございました。



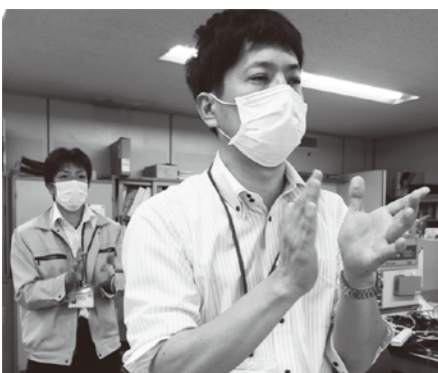
(順不同)

名称	数量(枚)
三興化学工業株式会社	5,000
株式会社アサヒテクノリサーチ	10,000
株式会社アサヒ情報システム	
都江堰市(中華人民共和国)	10,000
日本製紙株式会社	2,000
三木商事株式会社	5,000
テクノUMG株式会社	20,000

金曜日の正午は感謝の拍手を

医療、福祉関係者など、新型コロナウイルス対策のため最前線の現場で働く方は、常にウイルス感染のリスクと背中合わせの状況で治療や感染拡大防止活動に従事し、私たちの命を支えてくださっています。

毎週金曜日の12時に感謝の拍手を送る「Friday Ovation」を行っています。皆さんの参加をお願いします。



職場や自宅で拍手を送りましょう。

新型コロナ感染症緊急経済対策 特別定額給付金

—申請は7月末まで—

問い合わせ 総務課 ☎59-2188 / 59-2120

給付額

給付対象者1人につき10万円
※世帯ごとに指定口座に振り込まれます。

申し込み

7月31日(金)までに、申請書に必要な事項を記入の上、必要書類を貼って同封の返信用封筒で提出してください。マイナポータルでの電子申請もできます。

必要書類

○運転免許証などの本人確認ができる証明書のコピー
○通帳などの振込先の金融機関の口座番号が分かるもののコピー(水道料金や市税の引き落とし口座、または児童手当の支払い口座として市に口座を登録しているときは、省略できる場合があります)
※詳しくは申請書をご覧ください。

制度の概要などの問い合わせ

制度の概要など詳しくは、総務省ホームページで確認するかコールセンターに問い合わせてください。

コールセンター

☎0120-260020
9時～20時

詐欺にご注意ください

・市区町村や総務省などが現金自動預払機(ATM)の操作などをお願ひすることは、絶対にありません。「個人情報」「通帳、キャッシュカード」「暗証番号」の詐取に注意してください。

「新型コロナウィルス感染症緊急経済対策」で、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速で的確に家計への支援を行うものです。
5月初旬に世帯主宛てに申請書を発送しています。届いていない方は、総務課まで連絡してください。
給付対象者
4月27日に大竹市の住民基本台帳に記録されている方
受給権者 世帯主

個人事業者や中小法人の方へ 持続化給付金の申請が始まっています

問い合わせ 持続化給付金事業コールセンター ☎0120-115570
IP電話専用 ☎03-6831-0613

国は、新型コロナウィルス感染症の拡大により特に影響を受ける事業者に対して、事業の継続を下支えし、再起の糧としていただくため、事業全般に広く使える給付金を支給しています。

対象

次の①から③に該当する方
① 新型コロナウィルス感染症の影響により1カ月の売り上げが前年同月比で50%以上減少している。
② 2019年以前から事業による事業収入(売り上げ)を得ており、今後事業を継続する意思がある。
③ 法人の場合は、資本金の額あるいは出資の総額が10億円未満、または資本金の額あるいは出資の総額についての定めがない場合は、常時使用する従業員の数が2千人以下である。

給付額

昨年1年間の売り上げからの減少分を上限として、最大で次の金額となります。
○個人事業者等 100万円
○中小法人等 200万円

必要書類

次の①から④が必要です。
① 2019年(法人は前事業年度)の確定申告書類の控え

※收受日付印の押印が必要。e・T axの場合は、受信通知を添付

② 売り上げ減少となった月の売上台帳の写し
③ 身分証明書の写し(個人事業主の場合)

④ 通帳の写し
申請方法 申請は、持続化給付金の申請用ホームページから行います。

申請用ホームページからの申請が難しい場合は、7月末まで大竹商工会議所に持続化給付金の申請サポート会場が設置されますので、事前に電話または直接会場で予約の上、必要書類を持参して申請してください。
※申請用ホームページ
https://jizokuka-kyufu.jp

申請サポート会場電話予約

☎0120-835-130
(自動ガイダンス) 24時間対応
☎0570-077-866
(オペレーター対応) 9時～18時
電話予約では大竹商工会議所の会場番号「3409」を伝えてください。

【事業者向け】

支援制度など	支援の概要	相談窓口
セーフティネット保証4号認定	自然災害などの突発的事由により経営の安定に支障を生じている中小企業者への資金供給の円滑化を図るため、信用保証協会による保証限度額の別枠化などを行う制度です。(売上が前年同期比20%以上減少の場合など)	
セーフティネット保証5号認定	業況の悪化している業種に属する中小企業者への資金供給の円滑化を図るため、信用保証協会による保証限度額の別枠化などを行う制度です。(売上が前年同期比5%以上減少の場合など)	産業振興課 ☎59-2131
危機関連保証認定	東日本大震災やリーマンショックと同等の危機時に、信用保証協会による保証限度額の別枠化などを行う制度です。(売上が前年同期比15%以上減少の場合など)	
相談員派遣事業	中小企業診断士などの資格を有する相談員が、新型コロナウイルス感染症により被害を被っている中小事業者の事業所などに訪問し、個々の中小事業者が抱える課題(資金繰りや雇用の維持、活用できる施策など)に沿った解決策を一緒に考えます。相談員の派遣には、事前に電話での予約が必要です。	大竹商工会議所 ☎52-3105
小学校などの臨時休業に伴う休業取得支援	小学生などの保護者を雇用する企業が労働基準法上の年次有給休暇とは別に有給の休暇を取得させた場合	学校等休業助成金・支援金等 コールセンター ☎0120-60-3999
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的な業績悪化をしている中小企業・小規模事業者に対する融資(実質的に無利子・無担保)		日本政策金融公庫 ☎0120-154-505

※そのほか国や県の補助制度がありますので、ホームページなどで確認してください。

新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口

5月18日現在

健康に不安のある方の相談

問い合わせ
広島県感染症・疾病管理センター ☎082-513-2567

※相談の目安

- 高齢者、基礎疾患などのある方、妊婦などで発熱やせきなど比較的軽い風邪の症状がある場合
- 発熱やせきなど比較的軽い風邪の症状がある場合
- 息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状がある場合

【個人向け】

支援制度など	支援の概要	相談窓口
特別定額給付金の支給	4月27日において大竹市の住民基本台帳に記録されている方に対し、1人10万円支給します。(上記参照)	総務課 ☎59-2188 ☎59-2120
市税、保険料(国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料)の納付に関する相談	市税、保険料の納付が困難な場合、納付に関する相談に応じます。	市民税務課 ☎59-2127
国民健康保険、後期高齢者医療保険傷病手当金の支給	給与などの支払いを受けている被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染するなどし、療養のため、労務に服することができなくなり、事業主から十分な報酬が受けられなくなる場合に傷病手当金を支給します。	保健医療課 ☎59-2141
仕事や住まいの相談 (1) 就労支援 (2) 住居確保給付金	離職や収入の減少などにより、生活が困窮する場合の相談窓口です。	社会福祉協議会 ☎35-5300
生活福祉資金の貸付 (1) 緊急小口資金(主に休業した人) (2) 総合支援資金(主に失業した人)	休業や失業などにより生活資金でお悩みの方に向けた緊急小口資金などの特例貸付を行います。	